

## 学校関係者評価報告書（令和3年度）

令和3年度の学校関係者評価委員会を開催し、自己評価結果および発表内容をもとに、学校関係者による評価を以下のとおり実施した。

評価実施日：令和3年10月14日（木）

学校関係者評価委員：

関係企業委員2名、有識者委員2名、卒業生委員1名（計5名）

評価	評価に係る提言・改善等
<b>(1)教育理念・目標</b> 教育理念・人材育成目標ともに、しっかりと定められ、自校HPでの情報公開もおこなわれている。	入学検討者や保護者への情報発信がしっかりおこなわれている。IT社会の推進に貢献できる「自ら学び、考えて行動できる人材」の育成を継続してもらいたい。
<b>(2)学校運営</b> コロナ感染の予防手段を講じ、昨年6月以降は、対面授業を実施している。オンライン授業やハイブリッド型授業に移行できる体制も整えている。	高校では情報を担当できる教諭が少なくなっており、KCSの教員免許取得者育成に期待している。
<b>(3)教育活動</b> カリキュラム検討委員会を設置して、社会のニーズに応じたカリキュラムの検討・見直しを実施しており、高く評価できる。	コロナ禍で、学生のインターンシップ参加が難しい状況だと思われるが、企業選択のミスマッチを防ぐためにも、積極的な参加を促してもらいたい。 企業では、クラウド活用の機会が増えている。学生へのツール活用教育などを、さらに促進してもらいたい。
<b>(4)学修成果</b> 在校生に対する資格・就職および休退学防止に対する取り組みを高く評価する。 グループ内のソフトウェア企業主催のアプリコンテスト実施など、学生の主体的な学びの機会を提供している。	国家試験では、CBT試験シミュレータを利用し例年以上の合格者を輩出している。 コロナ禍の不安を取り除く学生への手厚いケアで休退学を防止しており、今後も継続してもらいたい。

<p><b>(5)学生支援</b>      高等教育の修学支援新制度の新設により、今まで進学を断念していた学生の入学も増えている。</p>	<p>コロナ禍の影響で、奨学金を利用する入学生が増加すると思われる。学びたい人がしっかり学べる環境を維持してほしい。</p>
<p><b>(6)教育環境</b>      防災に対する体制面について、改善方針のとおり引き続き検討を期待する。</p>	<p>コロナ禍の影響で、講師と学生のコミュニケーションの時間が減少していると思われる。人間関係構築の力を伸ばすためにも、学園祭などの取り組みを継続してもらいたい。</p>
<p><b>(7)学生の受入れ募集</b>      オンライン形式の説明会や3密を避けた対面式説明会など、コロナ感染予防の対策をしっかりとおこなっている。</p>	<p>IT分野の希望者は全国的に増加傾向である。県内の高校生に対して、IT分野の仕事内容を伝えていく取組みを継続してもらいたい。</p>
<p><b>(8)財務</b>      全体的によく取り組んでおり、特に改善項目はない。</p>	<p>問題なく実施されている。</p>
<p><b>(9)法令等の遵守</b>      全体的によく取り組んでおり、特に改善項目はない。オンライン授業についての著作権利用についても、正しく運用している。</p>	<p>個人情報保護やプライバシー管理について、職員への教育が徹底されている。</p>
<p><b>(10)社会貢献・地域貢献</b>      夏期・冬期の小中高校の教職員対象研修会には、多くの先生に参加いただいている。</p>	<p>大分県のIT教育の推進のためにも、KCSの教育活動を継続してもらいたい。例年実施していた、学校周辺の清掃ボランティア活動がコロナ禍のため実施できていない。感染状況をみながら、再開をしていきたい。</p>

以上